

# 世話人会

11:35 ~ 12:00

A会場 (5階 ライフホール)

## ランチョンセミナー

12:10 ~ 13:10

ランチョンセミナー1

A会場 (5階 ライフホール)

### 進行期パーキンソン治療におけるサフィナミドの位置づけ

演者1: 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学 助教

池中 建介

### パーキンソン病と嚥下障害 ~MAOB阻害薬によるCDSとその影響について~

演者2: 近畿大学医学部 脳神経内科学教室 臨床教授

平野 牧人

座長: 大阪医科薬科大学 脳神経内科 教授

荒若 繁樹

共催: エーザイ株式会社

ランチョンセミナー2

B会場 (5階 サイエンスホール)

### パーキンソン病の病態とステージに応じた治療戦略:MAOB 阻害薬を中心に

演者: 公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院 神経センター  
脳神経内科 主任部長

高橋 牧郎

座長: 滋賀医科大学 脳神経内科 教授

漆谷 真

共催: 武田薬品工業株式会社

ランチョンセミナー3

C会場 (5階 会議室501-503)

### 重症筋無力症患者の現状と治療 ~MG/LEMS診療ガイドライン2022をふまえて~

演者: 公益財団法人総合花巻病院 脳神経内科 主任医長

長根 百合子

座長: 大阪医科薬科大学 内科学IV教室/脳神経内科 講師

細川 隆史

共催: アレクシオンファーマ合同会社

## スイーツセミナー

14:20 ~ 15:10

スイーツセミナー1  
A会場 (5階 ライフホール)

### 全身型重症筋無力症

#### 最適な重症筋無力症治療を考える

演者1: 京都府立医科大学附属病院 脳神経内科 病院助教

小島 雄太

#### gMGの新規治療:ウィフガート臨床試験ADAPT試験を中心に

演者2: 近畿大学病院 脳神経内科 講師

寒川 真

座長: 関西医科大学 総合医療センター 脳神経内科 教授

近藤 誉之

共催: アルジェニクスジャパン株式会社

### スイーツセミナー2

B会場 (5階 サイエンスホール)

#### パーキンソン病治療におけるセレギリンへの期待 ~ $\alpha$ -シヌクレインへの作用から臨床における有用性まで~

演者: 学校法人 大阪医科薬科大学 内科学IV教室 脳神経内科 助教(准)

中村 善胤

座長: 大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学 助教

木村 康義

共催: エフピー株式会社

## 教育セミナー

15:45 ~ 16:45

A会場 (5階 ライフホール)

### 抗神経抗体と運動異常症

演者: 岐阜大学大学院 医学系研究科 脳神経内科学分野

下畑 享良

座長: 大阪医科薬科大学 内科学IV教室 脳神経内科

荒若 繁樹

# A会場

## 変性疾患

座長：長谷川 浩史  
(滋賀県立総合病院 脳神経内科)

9 : 00～9 : 40

### A-01 幼少期に精神発達遅滞が認められなかったBPANの一男性例

○池本 明由実<sup>1</sup>、中山 宜昭<sup>1</sup>、西岡 健弥<sup>2</sup>、服部 信孝<sup>2</sup>、宮本 勝一<sup>1</sup>、伊東 秀文<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>和歌山県立医科大学 医学部 脳神経内科  
<sup>2</sup>順天堂大学 医学部 脳神経内科

### A-02 新規遺伝子変異を認めた反復発作性運動失調症2型の1例

○西 将光、藤原 瑛子、八木 康至、山中 大輔、徳原 悠介、吉積 一樹、  
坂本 峻、右近 紳一郎、山本 麻美、渡邊 将平、笠間 周平、武田 正中、  
木村 卓  
兵庫医科大学病院 脳神経内科

### A-03 左右差のある錐体路障害を呈した筋萎縮性側索硬化症の1剖検例

○松尾 宏俊<sup>1</sup>、細川 洋平<sup>2</sup>、長谷川 浩史<sup>3</sup>、金 一暁<sup>4</sup>、田中 章浩<sup>1,6</sup>、高橋 央<sup>6,7</sup>、  
丹藤 創<sup>7</sup>、漆谷 真<sup>4</sup>、梶 龍兒<sup>5</sup>、伊東 恭子<sup>7</sup>  
<sup>1</sup>近江八幡市立総合医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>同 病理診断科  
<sup>3</sup>滋賀県立総合病院 脳神経内科  
<sup>4</sup>滋賀医科大学 脳神経内科  
<sup>5</sup>宇多野病院 脳神経内科  
<sup>6</sup>京都府立医科大学 脳神経内科  
<sup>7</sup>京都府立医科大学 分子病態病理学

### A-04 両側前頭葉内側面の血流低下を呈した反響言語症例

○前田 憲吾<sup>1</sup>、木村 有<sup>2</sup>、穠山 勝久<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>ヴォーリス記念病院神経内科  
<sup>2</sup>ヴォーリス記念病院リハビリテーション部

### A-05 脳波で周期性全般性徐波が出現したアルツハイマー型認知症の1症例

○佐藤 啓<sup>1</sup>、岡田 直<sup>1</sup>、林 紗葵<sup>2</sup>、大井 長和<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>宇治病院  
<sup>2</sup>宇治おうばく病院

## 奨励賞候補演題（内科専攻医） 1

座長：荒若 繁樹  
(大阪医科薬科大学 内科学Ⅳ教室 脳神経内科)

審査員：菊井 祥二  
(富永病院 脳神経内科)

審査員：平野 牧人  
(近畿大学 医学部 脳神経内科)

審査員：武田 景敏  
(大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経内科)

審査員：関口 兼司  
(神戸大学大学院 医学研究科 脳神経内科)

9：45～10：33

### A-06 メトクロプラミド静脈注射後に急性ジスキネジアを呈した脳梗塞の1例

○岩本 宗矩、大塚 喜久  
兵庫県立丹波医療センター 内科

### A-07 最後野症状を初発とし不随意運動を呈したNMOSDの一例

○玉城 駿介、武信 洋平、今村 大智、王 晨堯、池田 一俊、山川 健太郎、  
尾崎 彰彦  
大阪赤十字病院

### A-08 子宮腺筋症に対する偽閉経療法中に発症した可逆性脳血管攣縮症候群の一例

○松本 佳己、小松 研一、森内 俊達、太田 和馬、辻村 敦史、野村 倫子、  
新美 完、古川 公嗣、樽野 陽亮、宮本 将和、高橋 牧郎  
北野病院 脳神経内科

### A-09 ギラン・バレー症候群（以下GBS）様の急性発症を呈し、重度の末梢神経障害を生じた好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（以下EGPA）の一例

○川崎 友暉、田村 暁子、木村 裕子、濱田 雄一、中村 敬、関谷 智子、  
柴田 益成、當間 圭一郎、野里 聡子、西中 和人、宇高 不可思  
住友病院

### A-10 当初は脊髄炎と考えられた、血管内大細胞型B細胞性リンパ腫の一例

○田中 亮弘、古田 充、高田 和城、寺崎 泰和  
関西労災病院

### A-11 皮質性小脳萎縮症（cortical cerebellar atrophy：CCA）と臨床診断した6症例の遺伝子検査結果：高齢発症のホモ接合性SCA6の存在

○平田 真也、湯川 佳代子、神辺 大輔、山下 博史  
日本赤十字社 和歌山医療センター 脳神経内科

## 奨励賞候補演題（内科専攻医） 2

座長：永井 義隆  
(近畿大学医学部 脳神経内科)

審査員：菊井 祥二  
(富永病院 脳神経内科)

審査員：平野 牧人  
(近畿大学 医学部 脳神経内科)

審査員：武田 景敏  
(大阪公立大学大学院 医学研究科 脳神経内科)

審査員：関口 兼司  
(神戸大学大学院 医学研究科 脳神経内科)

10:38~11:26

### A-12 緩徐進行性の筋力低下に神経伝導検査異常、高CK血症を伴ったSOD1 H46R変異による家族性ALSの一例

○田埜 郁実、小川 暢弘、岡本 直己、山本 寛、田村 亮太、和田 英貴、  
矢端 博行、塚本 剛士、小橋 修平、北村 彰浩、山川 勇、真田 充、  
漆谷 真  
滋賀医科大学 内科学講座 脳神経内科

### A-13 突発的な意識障害・頭痛で発症した健常成人の *Streptococcus agalactiae* 髄膜炎の一例

○西村 光平、中前 拓也、大西 優輝、吉田 弘樹、梶川 駿介、井内 盛遠  
国立病院機構 京都医療センター

### A-14 造影効果を伴わないMRI脳病変の生検にて診断し得た原発性中枢神経系リンパ腫(PCNSL)の1例

○幸地 宏樹<sup>1</sup>、田中 智子<sup>1</sup>、竹内 由起<sup>1</sup>、万代 和宏<sup>2</sup>、米田 行宏<sup>1</sup>、多喜 純也<sup>3</sup>、  
山本 鉄郎<sup>4</sup>、金柿 光憲<sup>5</sup>、影山 恭史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経内科 <sup>2</sup>同 血液内科 <sup>3</sup>同 脳神経外科  
<sup>4</sup>同 病理診断科 <sup>5</sup>同 放射線診断科

### A-15 下位運動ニューロン障害を初発症状とするSCA2の1例

○松下 愛実<sup>1</sup>、小川 将司<sup>1</sup>、澤井 大樹<sup>1</sup>、中村 善胤<sup>1</sup>、塚原 彰弘<sup>1</sup>、細川 隆史<sup>1</sup>、  
石田 志門<sup>1</sup>、高橋 祐二<sup>2</sup>、水澤 英洋<sup>2</sup>、荒若 繁樹<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪医科薬科大学 内科学IV 脳神経内科  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター病院

### A-16 頭蓋内病変を伴っていたStormorken症候群の一例

○犬塚 諒子<sup>1</sup>、森勢 諭<sup>1</sup>、古塚 建伍<sup>1</sup>、中村 正孝<sup>1</sup>、金子 鋭<sup>1</sup>、吉岡 和香子<sup>2</sup>、  
西野 一三<sup>2</sup>、薬師寺 祐介<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>関西医科大学 神経内科学講座  
<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部

### A-17 ゾニサミドが有用であった遺伝子変異のあるパーキンソン病の一例

○宮崎 健輔、石川 大樹、片山 拓也、橋本 大輝、西尾 有葵子、下園 恒明、  
山口 聡子、新出 明代、野寺 裕之、末長 敏彦  
天理よろづ相談所病院

## 筋疾患

座長：江浦 信之  
(奈良県立医科大学 脳神経内科)

13:20~14:08

### A-18 LAMP-2/VMA21非関連であった筋鞘膜の性質を有する自己貪食空胞性ミオパチーの一例

○山中 愛<sup>1</sup>、江浦 信之<sup>1</sup>、塩田 智<sup>1</sup>、山岡 美奈子<sup>1</sup>、七浦 仁紀<sup>1</sup>、西野 一三<sup>2</sup>、  
杉江 和馬<sup>1</sup>

<sup>1</sup>奈良県立医科大学 脳神経内科

<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター疾病研究第一部

### A-19 筋症状と軽度末梢神経障害を呈したm.8344A>G変異によるミトコンドリアミオパチーの一例

○葛 林楯<sup>1</sup>、佐々木 絢子<sup>1</sup>、西川 敦子<sup>1</sup>、平山 喬<sup>1</sup>、上道 知之<sup>1</sup>、西野 一三<sup>2</sup>

<sup>1</sup>公立学校共済組合 近畿中央病院 脳神経内科

<sup>2</sup>国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部

### A-20 炎症性ミオパチーの合併が疑われた若年発症Facioscapulohumeral muscular dystrophy(FSHD)の1例

○西尾 有葵子、松田 明宏、下園 恒明、山口 聡子、本庄 智香、田口 智朗、  
新出 明代、野寺 裕之、末長 敏彦

天理よろづ相談所病院 脳神経内科

### A-21 高齢発症dysferlinopathyの1例

○深沢 良輔<sup>1,2</sup>、河野 仁<sup>1</sup>、中島 大輔<sup>1</sup>、武澤 秀理<sup>1</sup>、西野 一三<sup>3</sup>、藤井 明弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>済生会滋賀県病院 脳神経内科

<sup>2</sup>京都府立医科大学 大学院医学研究科 脳神経内科学

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター 疾病研究第一部

### A-22 遠位優位の筋力低下を呈し末梢神経障害との鑑別が必要であったHereditary myopathy with early respiratory failureの一例

○八杉 凌平<sup>1</sup>、平山 典宏<sup>1</sup>、樽野 陽亮<sup>1,2</sup>、大封 昌子<sup>1,3</sup>、斎藤 良彦<sup>4</sup>、綾木 孝<sup>1</sup>、  
西野 一三<sup>4</sup>、池田 昭夫<sup>1</sup>、高橋 良輔<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 脳神経内科

<sup>2</sup>北野病院脳神経内科

<sup>3</sup>京都市立病院脳神経内科

<sup>4</sup>国立精神・神経医療研究センター神経研究所 疾病研究第一部

### A-23 BIN1遺伝子新規変異を認めた中心核ミオパチーの一例

○北 峻志<sup>1</sup>、永田 格也<sup>1</sup>、清家 尚彦<sup>1</sup>、石原 広之<sup>1</sup>、荻田 典生<sup>2</sup>、西野 一三<sup>3</sup>

<sup>1</sup>加古川中央市民病院

<sup>2</sup>脳神経内科くすのき診療所

<sup>3</sup>国立精神・神経医療研究センター

# B会場

## 脳血管障害 1

座長：権 泰史

(大阪大学大学院 医学系研究科 神経内科学)

9 : 00～9 : 32

### B-01 右被殻出血後の左難聴が左被殻出血再発により増悪し右難聴が新規出現した一例

○新垣 慶人、吉本 武史、石山 浩之、田中 智貴、猪原 匡史  
国立循環器病研究センター 脳神経内科

### B-02 小脳出血術後に異常眼球運動を認めた一症例

○大井 長和<sup>1</sup>、林 紗葵<sup>1</sup>、佐藤 啓<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>宇治おうばく病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>宇治病院 脳神経内科

### B-03 純粹語唾を呈した脳梗塞の一例

○久後 啓介<sup>1</sup>、下村 雅浩<sup>1</sup>、小田 哲也<sup>1</sup>、上月 惇<sup>1</sup>、橋本 黎<sup>1</sup>、岡山 公宣<sup>1</sup>、  
細見 雅史<sup>2</sup>、濱口 浩敏<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>北播磨総合医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>北播磨総合医療センター リハビリテーション科

### B-04 前大脳動脈領域の脳梗塞と鑑別を要し、脳血管撮影にて皮質静脈血栓症と診断しえた1例

○大西 優輝<sup>1</sup>、中前 拓也<sup>1</sup>、西村 光平<sup>1</sup>、吉田 弘樹<sup>1</sup>、梶川 駿介<sup>1</sup>、土井 健人<sup>2</sup>、  
井内 盛遠<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>国立病院機構 京都医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>国立病院機構 京都医療センター 脳神経外科

## 脳血管障害 2

座長：小河 秀郎  
(公立甲賀病院 脳神経内科)

9:37~10:17

### B-05 味覚障害を伴う末梢性顔面麻痺を呈した脳幹梗塞の一例

○福永 大幹<sup>1</sup>、藤並 潤<sup>2</sup>、岸谷 融<sup>2</sup>、徳田 直輝<sup>2</sup>、沼 宗一郎<sup>3</sup>、西井 陽亮<sup>1</sup>、  
小林 史弥<sup>1</sup>、阪口 和希<sup>1</sup>、永金 義成<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学附属病院

<sup>2</sup>京都第二赤十字病院

<sup>3</sup>京都第一赤十字病院

### B-06 Calcified amorphous tumorによる心原性脳塞栓症の一例

○外川 啓介<sup>1</sup>、湯上 真由<sup>1</sup>、坂口 裕香<sup>1</sup>、岡本 光佑<sup>1</sup>、武田 景敏<sup>1</sup>、島田 健晋<sup>2</sup>、  
森崎 晃正<sup>3</sup>、桑江 優子<sup>4</sup>、大澤 政彦<sup>4</sup>、伊藤 義彰<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪公立大 脳神経内科

<sup>2</sup>大阪公立大 循環器内科

<sup>3</sup>大阪公立大 心臓血管外科

<sup>4</sup>大阪公立大 病理診断科

### B-07 もやもや病合併妊娠において妊娠後期に脳出血を発症した1例

○櫻井 玲<sup>1</sup>、松本 有加<sup>2</sup>、岡崎 周平<sup>1</sup>、藤堂 謙一<sup>1</sup>、佐々木 勉<sup>1</sup>、三宅 達也<sup>2</sup>、  
望月 秀樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学

<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科 産婦人科学

### B-08 剖検によって原因究明に至った、細菌性心外膜炎による心原性脳塞栓症の1例

○中安 翔一、古東 秀介、下村 雅浩、久後 啓介、矢幡 悟大、武田 侑己、  
山口 星一郎、山本 侑毅、細見 雅史、濱口 浩敏

北播磨総合医療センター

### B-09 脳梁下動脈の動脈解離が疑われた脳弓梗塞の一例

○柿野 圭紀、高下 純平、高木 正仁、古賀 政利

国立循環器病研究センター

## 脳炎・脳症

座長：阪上 芳男  
(淡海医療センター 脳神経内科)

10:22~11:10

### B-10 顕微鏡的多発血管炎の加療中に発症したリステリア脳幹脳炎の一例

○篠田 奈央、崔 聡、今井 啓輔、山田 丈弘、猪奥 徹也、長 正訓、  
田中 義大  
京都第一赤十字病院 急性期脳卒中センター 脳神経・脳卒中科

### B-11 血管内リンパ腫との鑑別を要したクリプトコッカス脳髄膜炎の1例

○塚原 彰弘<sup>1</sup>、鈴木 由希子<sup>1</sup>、仁科 拓也<sup>1</sup>、芳川 浩男<sup>1</sup>、田村 和義<sup>2</sup>、高橋 励<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>日本生命病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>同 脳神経外科  
<sup>3</sup>同 神経科・精神科

### B-12 難聴で発症し顔面神経麻痺を来した梅毒性髄膜炎の1例

○成宮 悠爾<sup>1</sup>、赤堀 元樹<sup>1</sup>、石尾 ゆきこ<sup>1</sup>、柳原 千枝<sup>1</sup>、小嶋 康隆<sup>2</sup>、山本 和代<sup>3</sup>、  
池垣 俊吉<sup>4</sup>  
<sup>1</sup>神戸市立西神戸医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>神戸市立西神戸医療センター 耳鼻咽喉科  
<sup>3</sup>神戸市立西神戸医療センター 免疫血液内科  
<sup>4</sup>神戸大学医学部附属病院 感染症内科

### B-13 SURF1遺伝子に新規の複合ヘテロ接合体変異を認めたLeigh脳症の1例

○名村 仁志、吉川 恵輔、金 蓮姫、上田 昌美、寒川 真、桑原 基、  
平野 牧人、永井 義隆  
近畿大学病院 脳神経内科

### B-14 増悪する脳卒中様発作に対してステロイドパルス療法が著効したMELASの2症例

○瀬戸 暁子、北村 彰浩、金子 隼也、山本 寛、田村 亮太、矢端 博行、  
塚本 剛士、小橋 修平、小川 暢弘、山川 勇、真田 充、漆谷 真  
滋賀医科大学医学部附属病院 脳神経内科

### B-15 画像所見を伴わない脳卒中様発作を繰り返したMitochondrial myopathy, encephalopathy, lactic acidosis, and stroke-like-episodes (MELAS) の1例

○山村 悠介、松本 明香、竹内 由起、古谷 裕季子、上田 健博、米田 行宏、  
影山 恭史  
兵庫県立尼崎総合医療センター 脳神経内科

## てんかん・治療・その他

座長：宇佐美 清英  
(京都大学大学院 医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座)

13:20~14:08

### B-16 てんかん発作を合併したDown症候群の2例

○國方 桃代、白石 翔一、田中 なつき、吉田 智子、北村 絵未、江並 朋美、  
小玉 大地、柳原 武彦  
多根総合病院 脳神経内科

### B-17 左手掌に限局した疼痛を発作症状としたFocal sensory seizureの1例

○岡田 誠央、木村 正夢嶺、矢幡 悟大、的場 俊、的場 健人、古東 秀介、  
十河 正弥、千原 典夫、関口 兼司、松本 理器  
神戸大学 脳神経内科

### B-18 神経内視鏡治療が奏功した水頭症の1例

○中野 孝宏<sup>1</sup>、小別所 博<sup>1</sup>、勝部 毅<sup>2</sup>、森下 暁二<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>甲南医療センター 脳神経内科  
<sup>2</sup>甲南医療センター 脳神経外科  
<sup>3</sup>兵庫県立加古川医療センター 脳神経外科

### B-19 気管切開チューブ挿入中の多系統萎縮症および低酸素脳症症例の長期経過した上肢痙縮に対するボツリヌス療法

○山口 美香<sup>1</sup>、岩佐 直毅<sup>1,2</sup>、島田 京子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>奈良西部病院 脳神経内科  
<sup>2</sup>奈良県総合医療センター 脳神経内科

### B-20 複数のCGRP関連抗体薬の治療に抵抗性がみられた慢性片頭痛の1例

○杉山 華子、菊井 祥二、宮原 淳一、太田 久仁子、團野 大介、柏谷 嘉宏、  
竹島 多賀夫  
社会医療法人寿会 富永病院 脳神経内科 頭痛センター

### B-21 日本神経学会地方会近畿支部の小児-成人移行医療アンケート調査 第2報 -対象を世話人とした-

○齊藤 利雄<sup>1,2</sup>、甲田 亨<sup>2,3</sup>、奥野 龍禎<sup>2,3</sup>、池田 昭夫<sup>2,4</sup>、望月 秀樹<sup>2,3</sup>  
<sup>1</sup>国立病院機構 大阪刀根山医療センター  
<sup>2</sup>日本神経学会小児-成人移行医療対策特別委員会  
<sup>3</sup>大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学  
<sup>4</sup>京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常生理学講座

# C会場

## 免疫性神経疾患1

座長：藤井 ちひろ

(関西医科大学 総合医療センター 脳神経内科)

9:00~9:40

### C-01 ウェルニッケ脳症との鑑別を要した視神経脊髄炎スペクトラム障害の一例

○小川 敦史<sup>1</sup>、森山 拓也<sup>1</sup>、松下 誠貴<sup>1</sup>、山本 敦史<sup>1</sup>、木村 陽子<sup>1</sup>、山本 司郎<sup>1</sup>、  
永野 恵子<sup>1</sup>、山上 宏<sup>1</sup>、小堀 愛美<sup>2</sup>、岩谷 博次<sup>2</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 脳卒中内科

<sup>2</sup>独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 腎臓内科

### C-02 非再発時にMRI脳病変が確認され、早期治療介入し、無症候のまま推移した抗AQP4抗体陽性視神経脊髄炎スペクトラム障害の1例

○西野 晃平、田原 将行、水井 大介、大江田 知子、澤田 秀幸

独立行政法人国立病院機構 宇多野病院 脳神経内科

### C-03 抗AQP4抗体陽性のNMOSDとして経過観察中に痙攣発作を発症し、MOGADと判明した一例

○太田 和馬、石井 淳子、前川 嵩太、藤原 悟、高杉 純司、吉村 元、  
尾原 信行、幸原 伸夫、川本 未知

神戸市立医療センター中央市民病院

### C-04 髄膜・大脳深部・脳神経に広範な造影効果を認めた自己免疫性GFAPアストロサイトパチーの一例

○福永 晃久<sup>1</sup>、尾谷 真弓<sup>1</sup>、小林 勝哉<sup>1</sup>、綾木 孝<sup>1</sup>、下竹 昭寛<sup>1</sup>、池田 昭夫<sup>2</sup>、  
高橋 良輔<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学医学部附属病院 脳神経内科

<sup>2</sup>京都大学大学院 医学研究科 てんかん・運動異常生理学

### C-05 レビー小体型認知症との鑑別を要し、ドパミントランスポータシンチで集積低下を示したMorvan症候群の1例

○安田 怜<sup>1,2</sup>、大曲 悠希<sup>1</sup>、半谷 美沙紀<sup>1</sup>、高橋 央<sup>1,2</sup>、西村 優佑<sup>2</sup>、村田 翔平<sup>2</sup>、  
芦田 真士<sup>2</sup>、田中 瑛次郎<sup>2</sup>、水野 敏樹<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学附属北部医療センター 神経内科

<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学

## 免疫性神経疾患2

座長：細川 隆史  
(大阪医科薬科大学 内科学IV教室 脳神経内科)

9:45~10:17

### C-06 脳生検が診断と治療に有用であったPrimary CNS eosinophilic vasculitisの一症例

○竹中 友洋、前川 嵩太、岡 良祐、吉田 匡伸、小泉 直史、下山 佳織、  
櫻井 泰久、荒木 健、藤原 悟、石井 淳子、高杉 純司、尾原 信行、  
吉村 元、幸原 伸夫、川本 未知

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経内科

### C-07 脳神経障害による構音・嚥下障害をきたした好酸球性多発血管炎性肉芽種症(EGPA)の一例

○増田 光輝、津崎 光司、長岡 紗由、鈴木 郁、酒井 遼介、殿村 修一、  
上原 尚子、三原 丈直、立花 直子、濱野 利明

関西電力病院 脳神経内科

### C-08 拡大胸腺摘除術後に筋炎を発症し、抗横紋筋抗体が陽性であった重症筋無力症の一例

○吉本 祥子、杉田 千鶴子、小川 将司、宮川 るみな、垣内 謙祐、増田 裕一、  
中村 善胤、塚原 彰弘、太田 真、細川 隆史、石田 志門、荒若 繁樹

大阪医科薬科大学病院 内科学IV 脳神経内科

### C-09 Lambert-Eaton筋無力症候群型の神経筋伝達障害を呈した重症筋無力症の一例

○中村 寛人、山下 翔子、定金 秀爾、稲田 莉乃、寒川 真、桑原 基、  
平野 牧人、永井 義隆

近畿大学病院 脳神経内科

## 末梢神経障害

座長：桑原 基  
(近畿大学 医学部 脳神経内科)

10:22~11:10

### C-10 肝硬変を背景として、銅欠乏による脊髄症および末梢神経障害をきたした一例

○半谷 美沙紀<sup>1,2</sup>、小島 雄太<sup>2</sup>、清水 夢基<sup>2</sup>、深沢 良輔<sup>2</sup>、芦田 真士<sup>2</sup>、森井 芙貴子<sup>2</sup>、  
田中 瑛次郎<sup>2</sup>、水野 敏樹<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学附属北部医療センター 神経内科

<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学

### C-11 進行期にパチシランを投与した家族性アミロイドポリニューロパチーの1剖検例

○島田 勇毅<sup>1</sup>、別宮 豪一<sup>1</sup>、池中 健介<sup>1</sup>、村山 繁雄<sup>1</sup>、河井 真季子<sup>2</sup>、森井 英一<sup>2</sup>、  
望月 秀樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪大学大学院医学系研究科神経内科学

<sup>2</sup>大阪大学大学院医学系研究科病態病理学

### C-12 SARS-CoV-2ワクチン接種後に発症した神経痛性筋萎縮症の一例

○宇田 有希、古東 秀介、渡部 俊介、北 峻志、武田 涼輔、末廣 大知、  
的場 健人、十河 正弥、千原 典夫、関口 兼司、松本 理器  
神戸大学大学院医学研究科 脳神経内科学

### C-13 瞳孔散大が遷延したギランバレー症候群の一例

○永島 希、清水 幹人、伊藤 舞、佐藤 拓真、村上 駿平、深阪 勲、  
東田 京子、隅蔵 大幸、星 拓、澤田 甚一、坂口 学  
大阪急性期・総合医療センター

### C-14 ギラン・バレー症候群に分娩後脳血管攣縮症候群を合併した一例

○大井 二郎、山田 茜、中村 竜太郎、小河 秀郎  
公立甲賀病院

### C-15 骨折を契機に発症した再発性ギラン・バレー症候群の一例

○西田 有騎<sup>1</sup>、辻 有希子<sup>1,2</sup>、西村 優佑<sup>1</sup>、蒔田 直輝<sup>1</sup>、石井 亮太郎<sup>1,2</sup>、牧野 雅弘<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都岡本記念病院 脳神経内科

<sup>2</sup>京都府立医科大学大学院医学研究科 脳神経内科学